

	1	2	3	4	5
項目	学習指導について ・授業研究等	特別活動について ・部活動や学校行事	生徒指導について ・基本的生活習慣等	進路指導について ・進路行事、進路情報等	校務一般について ・校務分掌、PTA、同窓会、地域との連携等
学校関係者のご意見・ご感想・ご提言等	<ul style="list-style-type: none"> 保護者に於いても、生徒に於いても、アンケートの回答から、非常に充実したものであることが窺える。生徒の実態に合った内容、教え方、また、保護者や地域の期待に添った内容とすることは大変なこと。是非継続して行っていただきたい。 「観点別学習状況の評価」の取り組みが興味深く、意義を感じる。分掌の範囲で、精力的な活動が展開されており、敬意を表したい。しかしながら、改善点は多そうである。 ICTを活用した授業が出来ている。教室が落ち着いている点等評価できる。 授業改善への取組が十分に見られたように思いました。 生徒の学力の定着について、客観的な評価があればいいと思いました。 個々に応じた指導が行われていると感じました。 地理総合（1年）から歴史総合（2～3年）という段階的履修の工夫はとても大切なことかと思えます。社会人の必要な知識として私自身も、いまだに高校時代世界の地理や歴史をもっと学んでおけばよかったと思っています。 よく頑張られていと思えます。 	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍でありながら、岩城遠足の実施や、卒業生講話等の取り組み、更に、縦割り活動などの試みなど、行事運営に懸命に取り組まれており、その成果がアンケートからも窺え、素晴らしいと感じる。 縦横の活動へ意識が向いているのは好ましい。「キャリアパスポート」の利活用は手立てと思うが、改善に期待したい。 生徒の社会性向上に役立っている。縦割り活動がリーダーシップ体験に有効だった。 縦割り活動の推進は大いに評価できると思います。次年度も是非継続していただきたいと思いました。 縦割り活動などで、コミュニケーション能力の育成に力を入れていただいている様子がよく分かりました。 卒業生講話は、生徒に好評であったとのこと、現実の社会を先輩を通して身近に感じられたと思います。是非、継続してほしいと思います。 修学旅行は大切なことなので、安全に出かけられることを祈ります。 	<ul style="list-style-type: none"> ソーシャルスキル、コミュニケーション能力の育成、集団生活での協調性などを主眼に据えて生徒指導を行っている姿が読み取れ、それが、保護者や生徒にも理解、評価されていることが窺える 自己評価は控えめだが、極めて良好な活動であり、「A」が相応しい。具体的な成果物「生徒指導内規」が現代的で衆目の是認感に親しいものとなるよう祈念する。 対人関係形成やコミュニケーション力をつけるには時間と場数が必要と理解できた。スマホのモラル、セキュリティに関する学びがあり良かった。 校則や内規への取組は十分に評価できると思います。 生徒理解も含めた「積極的な生徒指導」への取組が具体化されてくれば、学級支援、担任サポートの生徒指導体制も充実してくるのではないのでしょうか。 問題行動が無かったとのこと。先生方のご指導のおかげと感謝いたします。 生徒指導について、内規作りの準備をしているとのこと、基本的指針になるのでとても大切なことだと思います。 いじめ防止委員会は大切な役割と考えました。目に見えないところで、心配事は常に起こっていると考えます。ネット社会は心配なことだらけです。 	<ul style="list-style-type: none"> ハローワーク、職場定着支援員などとの連携や卒業生講話等の取り組みは窺えたが、資格取得に向けた支援は若干ではあるがマイナス評価であったらどうか？ 活動は良好であり、外からは「A」評価もあり得る。しかし自己評価には、反省点もあり「B」とした。基本的に適切な対応と考える。 卒業生講話により生徒が身近に進路イメージを持てた。個々のPCスキルの向上は将来役立つであろう。 卒業予定者の進路が決定したこと、何よりも良かったと思います。 卒業生講話もとても良い取組だと思いました。是非次年度も継続していただきたいと思いました。 卒業する生徒さんの進路が全て決定したとのこと。これも日頃から個々の特性を理解し、そして指導していただいた結果だと感じます。 卒業生3名全員の進路が決定しているとのこと、素晴らしい結果だと思います。 定時制の生徒に対する先生方の負担はかなりのものと思います。そして家庭との関係も大変でしょう。生徒の希望が叶う就職先となっているようで、感謝です。 より新しく正確な情報を与えていただきたいと思います。 	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍で大変な部分もあったであろうが、今後の一層の充実を期待する。 目標「P」に「手立て」を記載する考え方は、PDCAの仕組みに相応しい。手段には、KPIが定めやすいはずで、今後検討すべきと考える。 コロナ禍中適切に運営されていた。より広い分野でのインターシップの機会を与えたい。 定時制ならではの取組（支援委員会や進路指導）やPTAとの連携など、十分な取組が見られたと思います。 人数は少ないものの、個への支援が必要な生徒が多いと思います。様々な面での連携を図りながら、個に沿った取組を今後も続けていただきたいと思いました。 アンケートより、「PTA活動が充実している」人の割合が高いということは、素晴らしいと思います。 地域との連携は、具体的に何をしたらいいのか、私もよく分かりませんが、是非、模索して実施すべきだと思います。地域社会との接点が、将来の進路の何かヒントになるかもしれません。 さらに地域にとけ込めるよう、努力していただきたいと思います。
評価	A	A	A	A	A

《ABC評価》 A：具体的な活動がなされ、目標を達成できた。
 B：具体的な活動はなされているが、目標は達成できていない。
 C：具体的な活動がなされておらず、目標も達成できていない。

	1	2	3	4	5
項目	学習指導について (教務部・研修部・各教科等)	特別活動について (特別活動部・支援委員会等)	生徒指導について (生徒指導部・保健部・支援委員会等)	進路指導について (進路指導部・支援委員会・各学年部等)	校務一般について (総務部・校内LAN運用管理委員会等)
重点目標等	<ul style="list-style-type: none"> 新学習指導要領の学習および評価について理解を深める。 高校入試新制度に向けて準備し、ミスなく実施する。 生徒の「わかった!」を引き出す指導を工夫する。 校内研修の充実を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> よりよい人間関係作り、コミュニケーション能力の育成を目指す。 キャリア・パスポートを有効活用する。 生徒の自己理解を促す活動を充実させる。 組織としての支援を充実させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒指導部内規の早期整備を図る。 生徒と学級を支援する生徒指導の実践と充実を図る。 基本的な生活習慣の確立を促す。 思いやりの気持ちを育む。 	<ul style="list-style-type: none"> 卒業予定者全員の進路決定を目指す。 関係機関と連携した進路指導を行う。 生徒の実態に即した進路行事を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> 全体的な視野で各分掌間の連絡調整を図る。 PTA・教育振興会・関係諸機関との連携を密にし、教育環境の整備充実と活性化に努める。 校内LANの安定した運用を行う。 図書コーナーの利用の促進と管理を行う。
実施状況・達成状況	<ul style="list-style-type: none"> 観点別学習状況の評価の様式については、大きな問題なく運用できている。 今年度から全日制定時制とも5教科による学力検査となり、同一日程での実施となる。全日制と連携することで進めている。 電子黒板やタブレットは比較的良く活用されているが、ICT活用の研修は行うことはできていない。 予定どおり、授業参観や授業研究会、校内研修会を実施した。 授業アンケートの形式を「Googleフォーム」に変更することができた。 	<ul style="list-style-type: none"> 縦割り活動や各種学校行事で、全学年混合のグループ分けによる活動を行った。全教員の協力を得ながら、1年間継続して活動できた。 各学年でキャリア・パスポートを活用していることは確認できているが、共有の機会を確保できなかった。 ケース会議を複数回実施したことにより、生徒理解を深めることができた。 基幹相談支援センター（由利本荘市、にかほ市）と保護者との打合せを本校で実施し、聴き取りや確認を丁寧に進め、卒業後の進路に係る支援につなげることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> 全国の定時制高等学校の校則や生徒指導内規の研究、他校の生徒指導主事から情報をうかがい生徒指導内規の草案を作った。 生徒観察や情報共有については毎週水曜日の職員朝礼や職員会議での情報共有で十分にできていると感じている。 保健だよりを中心として、健康に関する情報を計画的に発信できた。また、口と歯の健康について保健講話を行った。 縦割り活動を通じて、他学年でのコミュニケーションが活発になるように、助言ができた。 	<ul style="list-style-type: none"> 卒業予定者3名全員の進路が決定した。生徒の情報については、打ち合わせや職員会議で共有できた。 Eサポートや基幹相談支援センター、ハローワーク等との効果的な連携が進路決定に結び付いた。 「卒業生講話」で卒業生の話を直接聞くことができ、生徒の意欲向上に役立った。 	<ul style="list-style-type: none"> 各分掌と連携・協力しながら学校行事や式典を実施できている。 教育環境を把握するとともに要望を集約しながら、教育環境の整備充実に努めることができた。 年間を通して、接続状況の確認や全日制の担当者との連携をしっかりと実施できた。全日制とは、新校務支援システムへの移行についても連携して取り組んでいる。 県立図書館のセット貸出を利用した。
評価	B	B	B	B	B
次年度への提言	<ul style="list-style-type: none"> 観点別学習状況の評価方法に係る情報交換や研修会の実施 授業参観週間や授業研究会、校内研修会等による研修の充実 	<ul style="list-style-type: none"> 各種行事の部内での割り振り キャリアパスポートの内容と活用に関する検討 縦割り活動に係る反省の引き継ぎ 個別の支援の工夫 教育専門監の更なる活用や、特別支援教育に関する研修の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒指導内規の完成 学校生活調査の内容の精査 口や歯に関する指導を継続しつつ、令和3年度に実施していた食に関する指導の実施 自己受容を促すことができるSGE、SSTの指導の機会を増やす。 	<ul style="list-style-type: none"> 「卒業生講話」の講師に係る、早めの情報収集 インターンシップ担当を2年副担任とする（R3からの継続）。 「トップが語る秋田の企業・職場見学」の担当を1年副担任とする（R4からの継続）。 令和5年度実施の修学旅行に向けた人間関係づくりの工夫 	<ul style="list-style-type: none"> HPを活用した積極的かつ継続的な広報活動 危機管理マニュアルの全面的な更新 新校務支援システムへのスムーズな移行 県立図書館のセット貸出の継続的な利用

《 職員自己評価 》 A：達成 B：ほぼ達成 C：やや不十分 D：不十分